

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

83

令和2年
4月10日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

新年度を迎えて

今年は記録的な暖冬で桜の開花も早く穏やかな春の到来が期待されましたが、新型コロナウイルスの全世界的な流行により先行きが不透明な新年度の始まりとなりました。

新型コロナウイルスは2020年3月11日に世界保健機関（WHO）よりパンデミック宣言が出されるに至り、日本でも終息の見通しがたちません。われわれ一人ひとりには、感染拡大をできるだけ防ぐ努力が求められています。このウイルスの感染者は、若年者を中心に約80%の方が軽症である一方で、高齢者や持病がある方は重症化しやすい特徴があります。日本脳卒中協会は、脳卒中患者は一般の方々よりも免疫力や体力が弱っており感染しやすく重症化しやすい可能性があると注意喚起しています。脳卒中患者の診療を中心とした当院でも日常診療を継続しつつ、入院患者の安全を確保するため可能な限りの対策を講じているところです。

昨年12月1日からいよいよ脳卒中医療の充実による国民の健康増進を目的とした「脳卒中・循環器病等対策基本法」が施行され、脳卒中治療の均てん化に向けた具体的な取り組みが進むことが期待されています。脳卒中が疑われる患者に対し救急隊がジャストスコア（脳卒中の可能性とその病型を判定するアプリ）を活用し適切な病院搬送につなげる広島市の取り組みも、2年目を迎え一定の効果が明らかとなっています。今後はこの取り組みの、広島県下への応用が望まれます。当院では昨年11月より脳卒中患者を効果的に治療するための脳卒中集中治療室（Stroke Care Unit）を3床から6床に増床しており、本年度も脳卒中診療のより一層の充実を目指していきます。

さて、当院では脳神経外科専門病院として地域のニーズに応えるべく、本年4月より新たなプロジェクトである「正常圧水頭症センター」がスタートします。正常圧水頭症は、脳脊髄液の吸収障害により、歩行障害、認知症、尿失禁の主に3つの症状を生じ、手術（髄液シャント手術）によりこれら症状の改善が期待される疾患です。この正常圧水頭症に対し、医師を中心に、看護師、診療放射線技師、リハビリテーション療法士の多職種が協働して総合的に症状や画像所見を評価し体系的に治療していきます。手術適応を判断するための髄液排除試験を入院にて行い効果を判定します。手術法もより低侵襲な術式（腰椎腹腔シャント術）を拡大していきます。

最後に、新型コロナウイルスの流行するなか明るいニュースとして、4月から当院は12名の新入職員を迎えることができました。新たな気持ちで患者の安全を確保しつつ、当院に求められる診療を職員一丸となって継続していきたいと考えております。本年度もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

令和2年4月1日
院長 荒木 勇人

もくじ

- ① 新年度を迎えて
- ② 正常圧水頭症とは ~症状・診断~
- ③ 2019年診療統計実績
- ④ 第37回日本カーリング選手権大会に参加して
管理栄養士のおすすめメニュー
- ⑤ 連携医療機関のご紹介 —— (医療法人あろえ会 岡本クリニック) ——

正常圧水頭症とは～症状・診断～

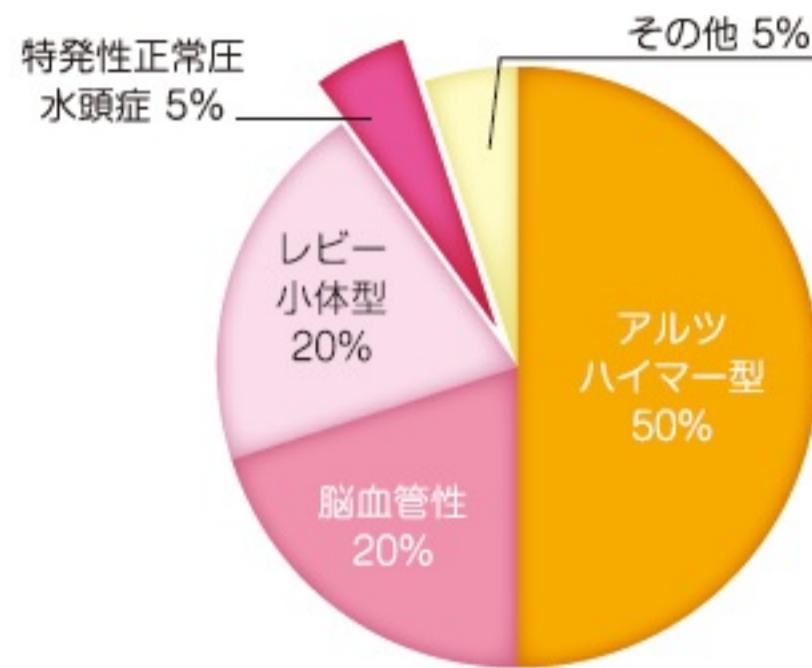
正常圧水頭症とは

脳は、頭蓋内で髄液という透明な液体に浮いた状態で存在しています。この髄液は主に脈絡叢という場所で産生され、脳室という髄液に溜まり流れていき、吸収されています。成人で1日に約500mlの髄液が産生され吸収されています。

「水頭症」は髄液が通常より多く頭蓋内に溜まった状態です。このうち、腫瘍などにより髄液の通過障害が生じ、髄液が貯留して頭蓋内の圧が上ることを「非交通性水頭症」といいます。一方、くも膜下出血や髄膜炎などで髄液の吸収障害が生じ、髄液が貯留することを「正常圧水頭症(Normal Pressure Hydrocephalus: NPH)」といいます。この場合、髄液の交通は妨げられず、さほど頭蓋内圧が上がりません。

NPHにはくも膜下出血などが原因で生じる二次的なものと、その原因が分からない「特発性正常圧水頭症(iNPH)」があります。iNPHは加齢に伴い増加するといわれており、65歳以上の有病率は0.5~2.9%で、10万人あたり250人が罹患していると推定されます。なお、iNPHは認知症患者の5%を占めるといわれ、近年は治療可能な認知症として注目されています。

●認知症の原因



正常圧水頭症の症状

NPHの3大徴候は「歩行障害」「認知機能の低下」「失禁」として知られています。いずれの症状も加齢に伴い出現することがあるため、症状が出ても「歳のため」と思われがちで、病気が進行するまで気づかないことが多いのも事実です。脳神経外科では「治療可能な認知症」といわれていますが、症状が進行してしまうと治療を行っても障害が残ることもあり、他の病気と同様に早期発見が重要であることは間違ありません。

正常圧水頭症の診断

診断は頭部MRIやCTなどの画像診断と、腰椎穿刺（せんし/針を刺し液体を採取すること）で髄液を採取し、「髄液の排出により症状が改善するかどうか」というタップテストで診断します。

MRIやCTでは、ただの脳萎縮とは違う特徴的な像がみられます。CTでは、脳室拡大とともに脳室周囲に低吸収域がみられることがほとんどです。MRIでは、DESH(Disproportionately Enlarged Subarachnoid-space Hydrocephalus)といわれる特徴的な像を示します。DESHとは、大脳の底部では委縮が目立つのに、大脳の上部(頭頂部側)では脳の皺が目立たない状態のことです。そして、タップテストで認知機能や歩行速度などが改善すれば、NPHと診断されます。なお、腰椎穿刺の際に、髄液压が正常範囲(200mmH2O)を越えないことから、正常圧水頭症といわれます。

以上のように、診断は比較的容易であり、治療方法も確立されているため、早期発見・早期診断が最も重要です。

正常圧水頭症センター
センター長 渋川 正顕

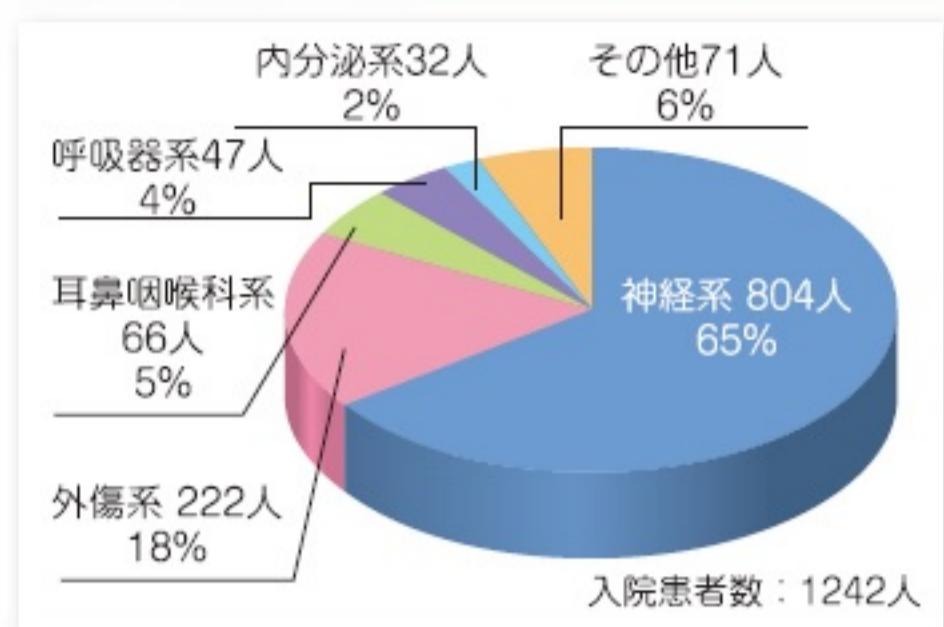
2019年診療統計実績

2019年疾病別入院患者数

2019年の1年間に当院に入院された患者さんの疾病分類です。疾患別分類はDPC制度で使用される主要診断群（MDC）によって分類しています。

当院は、脳卒中を中心とした脳神経外科領域を中心に診療を行なっていますので、脳神経外科の疾患が多く分類される「神経系」が入院患者の2/3近くを占めています。

神経系の中でも脳卒中は558件と神経系の中の7割、入院全体の45%を占めます。



入院経路別患者数

2017年から2019年までの入院患者さんの来院経路を「救急車」、「紹介」、「外来」の3つに分けて表記しています。

当院は、広島地区病院群輪番制病院に参加しており、救急車から入院される患者さんが多いですが、ここ近年減少傾向にあります。その一方で、近年の病気に対するマスメディア等の影響もあり、自発的に外来受診に来られる方が多くなってきています。

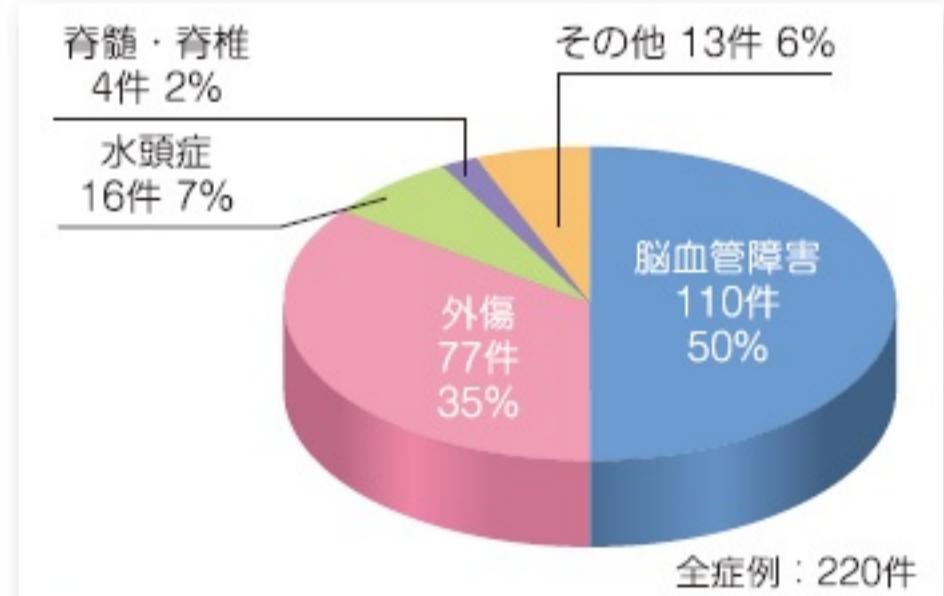


脳神経外科手術実施件数

2019年の当院脳神経外科領域における手術総数は、220件です。

最も多い症例は、脳血管障害に関する手術で110件、次いで外傷の手術を77件行いました。

脳血管障害の手術において、当院では、近年脳血管内手術に力を入れております。特に主幹動脈閉塞に対する緊急の血管内手術も24時間365日対応しています。



画像診断機器の稼働状況

当院の過去3年間の画像診断機器の稼働状況です。

当院は、MRI 3台、CT 1台を備えており、当院の診療のみならず、地域の医療機関の皆様にもご利用いただける画像診断予約センターも併設しております。おかげさまで画像診断予約センターの利用数がMRIを中心に増加しております。つきましては予約時間等でご迷惑をかけることもあると思いますが、今後も地域医療に貢献できればと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

当院の画像診断予約センターをご利用されたい場合は、医療機関を通じてお気軽にご連絡ください。

画像診断予約センター TEL:082-273-4890 (直通)

	2017	2018	2019
MRI 3台 (3.0T: 2台、1.5T: 1台)	9,347	9,319	9,787
(画像診断予約センター利用)	2,379	2,474	2,748
CT 1台 (16列マルチスライス型)	7,094	7,044	7,193
(画像診断予約センター利用)	965	1,084	1,089
DSA (脳血管撮影)	102	118	108

第37回日本カーリング選手権大会に参加して

令和2年2月8日～16日、長野県の軽井沢アイスパークで開催された第37回全農日本カーリング選手権大会に当院リハビリテーション部の財官里帆作業療法士が西日本ブロック代表の「チーム広島」として出場しました。

この大会は一昨年の平昌オリンピックでメダルを獲得したチームも出場する、日本一のカーリングチームを決める大会です。広島市出身である財官選手は北海道大学在学中にカーリングを始め、当院に入職後も仕事と両立しながらカーリングを続けており、当院はチーム広島のユニフォームスポンサーとして協力させていただきました。ご声援頂いた皆さま、ありがとうございました。

～財官選手の言葉～

9位という不甲斐ない結果でしたが、国内のトップチームと戦うことができ、収穫の多い大会でもありました。この経験を糧に今後も頑張りたいと思います。応援ありがとうございました。



大会看板



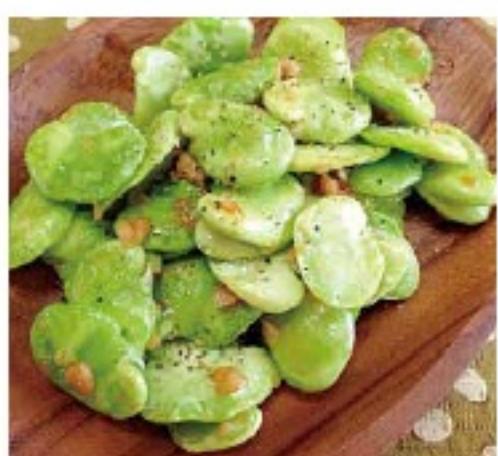
プレイ中の財官選手

管理栄養士のおすすめメニュー

《ソラマメ》

ソラマメは色々な呼び方があり漢字で「蚕豆(そらまめ)」また、「空豆(そらまめ)」とも書きます。その他にも「天豆(てんまめ)」とも書かれることもあります。

ダイズ、ラッカセイ、エンドウマメ、インゲンマメ、ヒヨコマメと共に6大食用豆と呼ばれています。九州の鹿児島が全国の4分の1以上を作っているほか、千葉、茨城など全国各地で栽培されています。早いもので鹿児島から年末に出荷されるようですが、旬は4月から6月にかけての時期になります。ソラマメには主に植物性たんぱく質を多く含みます。カリウム(ナトリウムを排泄するため高血圧に効果あり)、マグネシウム(血圧を調整する)などミネラルも豊富です。その他に、ビタミンB1(消化液の分泌を促す)、ビタミンB2(粘膜を作る)、ナイアシン(エネルギーの代謝を促す)、ビタミンC(風邪予防、疲労回復など)といったビタミン類も豊富に含んでいます。



☆ソラマメのガーリック炒め☆

〈材料〉1～2人分

ソラマメ 10さや分

☆にんにく 1かけ

☆オリーブ油 大匙1

▲塩 少々

▲ブラックペッパー 少々



- ① さやの中の豆を取り出す。
にんにくはみじん切りにする。
- ② 好みで薄皮をむく
- ③ 熟していないフライパンに
☆を入れて中火にかける。
にんにくの香りがするまで炒める
- ④ ②のソラマメを入れて
2～3分炒めます
- ⑤ ▲の調味料で味付けする



医療法人あろえ会 岡本クリニック (乳腺のかかりつけ医)

住 所：〒733-0812 広島県広島市西区己斐本町3-11-7

T E L：082-271-0405 乳癌予約専用電話番号：082-271-0497

F A X：082-274-1424

診療科目：外科・乳癌科・肛門科・消化器内科・皮膚泌尿器科

院 長：岡本 太郎

診療時間：8:45～12:00・14:00～17:45

休 診 日：水曜午後・土曜午後・日曜・祝日



院長 岡本 太郎先生

当院は、父(岡本文治)が西区己斐に「岡本外科医院」を開業して、間もなく60年になります。現在は、「医療法人あろえ会 岡本クリニック」と改名し、乳癌クリニックと日常診療のかかりつけ医として、日々研鑽しております。

最近では、11人に1人が乳癌に罹患すると言われていますが、乳がん検診受診率は4割と低く、早期乳がんで発見出来れば5年生存率は99%にもかかわらず、年間14000人が乳がんで亡くなっています。乳がん検診は、マンモグラフィが痛かったり、検診や検査が恥ずかしいなどの理由から、足が向かない方が多いようです。そこで、当院では、皆様の「乳癌のかかりつけ医」として、不安や疼痛を出来る限り軽減出来るよう努力しております。何歳でも乳がんになりますし、男性も乳がんになります。患者様が乳房にしこりや違和感などの症状を訴えがあればご紹介下さい。

そこで、乳がん術後の全身検査としても、荒木脳神経外科の先進的な検査機器は、微細な転移巣の発見等、当院の診療を助けて頂いております。また、乳癌疾患以外の日常診療でも、診断に困った時や患者さんの急変や専門外の脳神経外科の疾病に対して、無理な時間帯にも快く受けていただけるので、すっかり甘えています。ちなみに、私自身もMRIやCTを受けさせていただきましたが、やさしいスタッフの皆様のおかげで、不安を感じることなく、気持ちよく受けさせていただきました。これも、病院としての日々のスタッフ教育の賜物と、当院も参考にさせて頂いております。

そして、荒木脳神経外科病院には、父が理事長先生に懇意にしていただいている事もあり、古くからお世話になっており、現在も、沖先生には広島市外科医会で、藤井先生には広島大学第二外科同門会で、荒木院長先生には広島観音高等学校同窓会でお世話になっています。現在でも日夜を問わず、沢山の救急車を受け入れられ、先生やスタッフの皆様は大変な日々ですが、お身体にご自愛頂き、これからも私ども開業医を助けいただける様よろしくお願い致します。



医療法人光臨会 理念

- 一、皆様に安心していただける、
全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、
幅広い診療体制で地域医療に貢献します
二、急性期医療の中核病院として、
高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

1. 「医療の原点は救急である」
2. 快適な療養環境と接遇の提供
3. チーム医療の推進と相互啓発
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

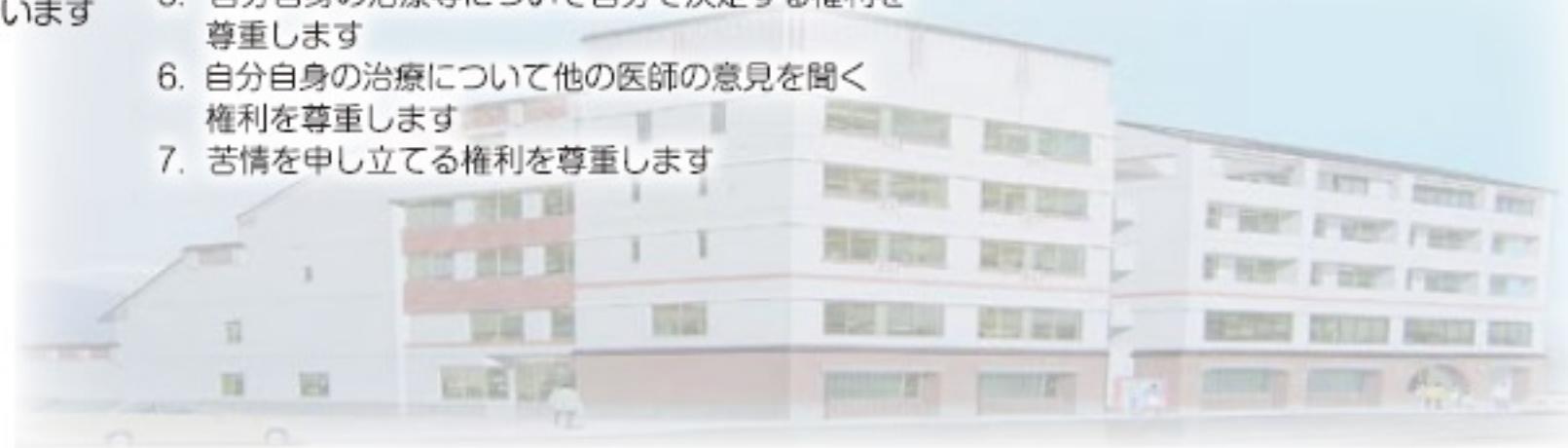
患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が
次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います

- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
- 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
- 医療に関して知る権利を尊重します
- 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
- 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
- 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
- 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

- 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報をお伝えする義務があります
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を遵守する義務があります。



外来担当医表

			月	火	水	木	金	土	診察時間
脳神経外科	午前	初診(1診)	渋川	中原	沖	江本	太田	広大	◆完全予約制
		初再診(2診)	荒木(勇)	太田	江本	沖	渋川	江本	午前 9時～12時 (初診受付：午前 11時30分迄)
		初再診(3診)	沖	野坂	加納		加納		午後 3時～6時 (初診受付：午後 5時30分迄)
	午後	初再診	野坂	加納 (1・3・5週) 沖 (2・4週)	広大	加納	沖	広大	救急は 24 時間受付けております
脳神経内科	午前	初再診(3診)				青木			
総合診療 (内科・外科)	午前	初再診(4診)	野村	浅本	藤井	浅本	藤井	野村	
	午後	初再診(4診)	藤井	浅本	野村	浅本	野村	野村	
	午前	検査		浅本		野村 浅本			
	午後	検査		浅本	野村	浅本			
脳神経外科 消化器内科	午前	初再診(5診)		荒木理事長	渋川		荒木(勇)	井上	※井上名誉教授 第1土曜日 月1回

医療法人光臨会



荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス <http://www.arakihp.jp>

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

デイサービス あらき

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6100

あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6300

案内図



○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分
○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前